

女流劇作家、長谷川時雨

桜吹雪と心意氣

文・山田譲司

「人形町界隈を描いた作家たち その4」

日本橋つ子の視線で幼いこころの記憶を綴った、旧聞日本橋で知られる長谷川時雨は、明治12年（1879）日本橋区通油町一番地（現在の大伝馬町）で生まれました。

父親は、明治維新後に新しくできた官許代言人（後の弁護士）最初の12人中の一人であり、新しいことを取り入れる進歩的な家庭と思われがちですが、時雨が後に云うやわらか筋の人形町系統とは違い、通油町は伊勢商人の営む大店や金物問屋、続く通旅籠町には大丸呉服店と、堅気堅筋の大問屋町で、長谷川家 자체の生業も元来、呉服御用商であり、家事を仕切っていた祖母、母らは、女に学問は必要ない、習字、裁縫ができるはよいと考える江戸

時代の名残を残す家がありました。

ですから、書画、芝居、読書に興味を示す娘に危惧を感じたようで、早くから奉公に出され、明ければ、そぞくさと結婚話をまとめられます。しかししながら人生は分からぬもので、留守がちの夫を待つ間、時雨は思う存分勉強ができ、小説の懸賞募集に応募し特賞をとり才能を認められ、夫と別れ生家に戻り文筆に励むようになつたのです。

華やかなデビュー
明治38年、読売新聞が募集した懸賞脚本に応募した海潮音が、選者の坪内逍遙の絶賛を受け特賞となり、その後も懸賞募集で入選した霸王丸が舞

台にかかるようになりました。花王丸と改題し場所は歌舞伎座、若手のホープ六代目菊五郎初代吉右衛門、十五代市村羽左衛門、市川高麗藏（七代目松本幸四郎）、中村芝翫（五代目歌右衛門）と当時の人気役者を配し、歌舞伎座で初めて女性の脚本が上演されることもあり大変な評判になり、時雨のプロマイルが売り出されるなど歌舞伎界の伝統さえ破る鮮烈なデビューを飾つたのです。

女流劇作家の心意氣

時雨の脚本が好評を博しその後も明治44年、歌舞伎座にて、さくら吹雪が上演されます。さくら吹雪とは時雨の造語であり、劇壇の長老からは、古来から花吹雪といふ言葉があるのにとくレームをつけますが、「花吹雪とは古臭い、桜がぱーと散る」と云々に女の潔い最期を現しているのに大家のくせに妙なことを仰ると笑つぱねたのです。

桜満開の人形町商店街で何気なく使われている桜吹雪は時雨の心意氣が生んだのです。

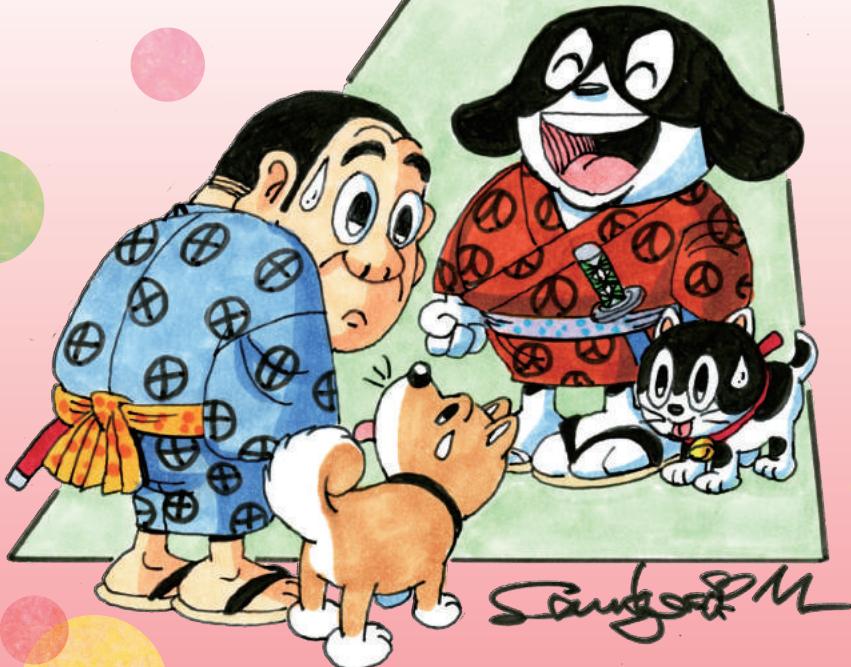
にほんばし

人形町

[特集]

今年は、明治維新から150年

今回は前号に引き続き、西郷隆盛子孫にその素顔をインタビュー。
知られざる西郷隆盛の謎に迫る!
さらに江戸時代から続く人形町の老舗をご紹介。



Spring
春号

VOL.147
Ningyocho 2018

にほんばし
人形町 VOL.147 春号 Ningyocho

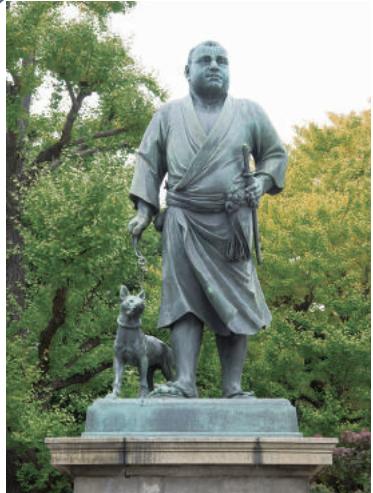
平成30年3月1日 通巻147号 発行／人形町商店街協同組合 東京都中央区日本橋人形町1-18-9 ☎03(3666)9094

題字／橋右女次 表紙イラスト／森本サンゴ 編集制作／(株)ストラ(有)オフィス・クレール 印刷／(株)メディアリンク



人形町商店街協同組合は応援しています。
人とセラピードッグの心のふれあい。

ホームページ「人形町」
<http://www.ningyocho.or.jp/>



「上野公園の西郷像」
西郷像は高村光雲の作1898(明治31)年建立

造り、県会議員である石沢幸太郎氏がモデルだったとか。ということは、上野の銅像も西郷隆盛に似ていない！そもそもがもとになる写真はあるのだろうか。

写真嫌いは、本当か。

一般的に西郷隆盛は「写真嫌い」なため、写真は存在しないと伝わる。自宅には一枚も残っていないのだろうか。「家には写真は一枚も残ってはいはず、イタリアの版画家・画家であるキヨツソーネが描いた肖像画が一番近いとされています。それも顔半分は従弟の大山巌で、半分は実弟の従道の顔を見て、隆盛に似せて描いたものな

ので、隆盛の顔を見て描いたものではありません。その後もフルベックの写真など出でますが、眞実かどうかは、科学的根拠はないのが実情です。ただ写真が現存しないのは「写真で己を残すのではなく、生き様で残す」という武士の心得だったのか。それでも、もし写真を撮つて、それが世に出回つていたとしたら、明治維新を起こす前に暗殺されたいたかもしれませんね」

そう顔が分かるということは、命を狙われるということ。そういう時代背景だったのだ。

「明治天皇から2度も『一緒に写真を撮れ』というお話を頂いておりますが、隆盛は強情で断つております。しかし、陛下からござりますので、もしakashitara宮家に陛下と映っている写真があつて、100年後ぐらい経つたら、それが出来ると親族同士で話してい

ます。これは我々がロマンとして思つてのことなんですね」

子孫に伝わる 西郷隆盛の生き様とは。

写真同様に、西郷家には隆盛ゆかりのモノは、全く残されていないらしい。「隆盛は國の人間だったので、西南の役後は國にすべて返したようです。なので西郷家に伝承されているものは家にはありません。私は坂本龍馬の子孫と懇意にしておりますので、らばつているだけです。隆盛の遺した詩に『鬼孫のために美田を買わず隆盛が龍馬に当た手紙などは、先方にあると聞いています。各地に散

いておりますが、隆盛は強情で断つております。しかし、陛下からござりますので、もしakashitara宮家に陛下と映っている写真があつて、100年後ぐらい経つたら、それが出来ると親族同士で話してい

この言葉は彼を語る上で欠かせない。「敬天愛人」とは、天を敬い、人を愛すること。人は天から天命というものをえられ、それに従い生きています。天はすべての人を分け隔てなく愛し

西郷隆盛、生誕190年。 子孫が語る、 その素顔とは。

西郷隆盛 本家 直系子孫五代目
西郷 隆太郎氏

Profile

西郷 隆太郎(さいごう りゅうたろう)
1983年(昭和58)東京都渋谷区生まれ、
現在は中央区在住。西郷家二十四日会代表

西郷隆盛と言えば、上野公園の銅像があまりにも有名。あの銅像は本当に西郷隆盛の顔なのか、いろんな説がある。除幕式で、イト夫人(西郷隆盛の妻)が『こんな怖い顔をしていない!』や『こげなかっこをしていない!』と怒ったという話も伝わる。実は銅像は上野公園以外に、鹿児島にも建立(1937年)されています。そちらは軍服姿です。上野で同じ軍服姿になると、西南の役のラストサムライというイメージが強すぎる。なおかつ戦争のイメージを出したくないため、狩りの着流し姿になつたと聞きました。またイト夫人が怒ったのは『西郷は、人前に出る時は、こんな普段着姿ではなく、礼儀ある人間だった』からだと伝わっています

ちなみに鹿児島の銅像は、安藤輝氏が



上野公園の西郷像は、似ている? 似ていない?

西郷隆盛と言えば、上野公園の銅像があまりにも有名。あの銅像は本当に西郷隆盛の顔なのか、いろんな説がある。除幕式で、イト夫人(西郷隆盛の妻)が『こんな怖い顔をしていない!』や『こげなかっこをしていない!』と怒ったという話も伝わる。実は銅像は上野公園以外に、鹿児島にも建立(1937年)されています。そちらは軍服姿です。上野で同じ軍服姿になると、西南の役のラストサムライというイメージが強すぎる。なおかつ戦争のイメージを出したくないため、狩りの着流し姿になつたと聞きました。またイト夫人が怒ったのは『西郷は、人前に出る時は、こんな普段着姿ではなく、礼儀ある人間だった』からだと伝わっています

ちなみに鹿児島の銅像は、安藤輝氏が

西郷隆盛の座右の銘「敬天愛人」。
西郷隆盛の座右の銘「敬天愛人」。

江戸時代から続く、老舗

「この町で100年続かないと、老舗とは言わないよ」と店主は言う。
忘れず、支え合い、感謝の心を持つ

それほど、人形町には創業100年以上の老舗が多い。

今年は明治維新から数えて150年。江戸時代から開業しているお店をご紹介。

そこには、今も語り継がれている技、味がある。

もしかしたら、西郷どんも通ったかも!そんな人形町ならではの老舗をご紹介。

玉ひで

日本最古の鳥料理店で、
軍鶏のすき焼きを味わう。

今年で258年。未だにお昼時になると元祖親子丼を目当てに、毎日行列を成す人気店がある。宝暦10(1760)年創業の鳥料理「玉ひで」だ。もともとは御鷹匠仕事を家業とし、現在の人形町3丁目に屋号「玉鐵」として軍鶏専門店を開業したのが始まり。その後も二代・三代と御鷹匠(おたかじょう)仕事を受けながらも家業を引き継いでいく。「50年間ぐらいためは出張料理をしていました」とは八代目・山田耕之亮氏。「店の他にも大名屋敷からの依頼を受け、



明治中期より関東大震災までのお店



家伝の[軍鶏のすき焼き]



ゆったりと掘ごたつ席から個室まで。

人形町1-17-10

TEL: 03-3668-7651

営業時間

昼の部・親子丼11:30~13:30

(13:00までにご来店のお客様で終了)

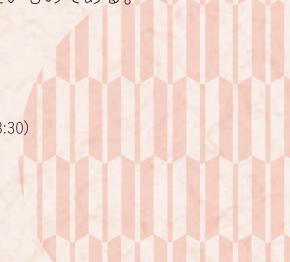
昼膳・コース11:45~14:30

(コースに限り、並ばずにお入りください。L.Oは13:30)

夜の部・17:30~22:00(L.Oは21:00)

※休日は昼のみの営業となる場合もございます。

生きた軍鶏を持って行き料理を振舞っていたようです」と語る。その後、名物店番付「江戸五高昇薫」にも鳥料理五店の中に選ばれ、明治初期の「東京牛肉・しゃも流行見世」の番付に店名が載るなど、昔も今も超有名店。ただ、当時は庶民が行ける店ではなく、地位ある一部の人だけが味わえる軍鶏料理であった。割下で食べる[すき焼き]は、現在残る飲食店として、日本最古のもの。今も引き継がれる家伝の[軍鶏のすき焼き]、一度は味わってみたいものである。



奥様は東京都議会議員の西郷あゆ美さん。「人形町ではいろいろなイベントが行われます。私たちと一緒に町を盛り上げたいと思っています」

しているのだから、他人のことも尊重して大事にする。互いに尊敬の念を忘れない、支え合い、感謝の心を持つことで充実感・幸福感を得られるのではないか。常に愛を持ちながり行動すべき時は断固として行動する。西郷隆盛が残した著書は一冊もなくその行動とは、自分の利益や他人からの評価を求めるではなく、大義や使命や天命から発するものなのです」

が、その教えをまとめたものが「西郷南洲翁遺訓」として伝えられています。今も西郷隆盛を敬う人は数知れない。そんな西郷家直系子孫五代目である隆太郎氏。彼に掛かる責任、その重圧は計り知れない。「重くないですか」の質問に。

「重いです!五代目を継ぐことだけでも大変なことです。西郷二十四日会の代表としての重圧もあります。西郷二十四日会とは親族の会で、亡くなつた人も合わせて1075人います。隆盛兄弟を第一世代とし、僕らが第五世代となります。四代目世代である親父や叔父さんは、隆盛のひ孫であるため、曾爺さんである隆盛はまだ近い存在かもしれません。父からも聞いたことがあります。例えば、イトさん(隆盛夫人)にみそ汁を出してもらった時に隆盛は『うまか、うまか』と言つたが、『実際は味噌が入つていなかつた』という笑い話など。そんなエピソードも含め、その子どもである僕ら世代は、第四世代から引き継いだ話をさらに繋いでいく。本家の代表として、1075

い。しかし、彼から教えを受けた人々が、自身も【敬天愛人】を人生の教訓と伝え続けていますが、生きている間にあそ本当に困難なことだと思います。「西郷南洲翁遺訓」にある『命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は始末に困るものなり。この始末に困る人ならでは、艱難(かんなん)を共にして国家の大業は成し得られぬなり』皆様ご存知かと思います。リーダーたる者、命も名譽も官位もお金も投げ捨てなければ、国家のために大業を成しえることはできない。私利私欲を捨てることが無私無欲の精神であり、これこそが国政で生きることの覚悟だったと。そして、その言葉通りに生きた人だったと言えるでしょう」

没後140年。幕末を生き抜き、明治維新を成し遂げた、西郷隆盛。私たちは決して彼を忘ることはないだろう。

五代目が思う、西郷隆盛像とは。

うぶけや

[職商人]としての伝統と技を今に伝える。



昭和初期の店舗



人形町3-9-2
TEL: 03-3661-4851
営業時間: 平日9:00~18:00
(土曜~17:00)
定休日: 日曜・祝日
店内の総桑でつくられた
陳列棚や唐傘天井、網代
編みが見事だ。

人形町通りの一角に誰もが目を引く、風情ある建物が見える。天明3(1783)年創業の「うぶけや」。屋号「うぶけや」とは、「うぶ毛も剃れる」包丁・剃刀、「切れる」鋸、「抜ける」毛抜き、から由来。大阪で創業後、江戸末期に現在の地に移転。「うぶけや」は二代目以降、『職商人』という形態をとっているという。職商人とは、「店をしっかりと持ち、腕のいい職人に刃物を作らせ、自分で刃をつけ、納得いくものを販売する」というもので、[職人であり商人]であることをいいます。昔の刃物屋はほとんどがこの形態をとっていましたが、今ではそんなお店も少なくなってしまいましてね」と語るのが八代当主。江戸時代から続く伝統と「研ぎ」の技術は、『職商人』である八代当主にしっかりと引き継がれている。



日本で初めて造られた「裁ちばさみ」(中央)

ロン

馬具商から珈琲店へと、時代を紡ぐ。

人形町交差点にレトロな喫茶店がある。現在は「ロン」という可愛い店名だが、創業は天明元(1780)年、馬具商からのスタートだった。当時は武家社会、彼らが使用する刀、なぎなた、鎧兜、馬の鞍、鐙(あぶみ)などを扱う商売で、まさに武家総合雑貨業といえるだろう。その後、両替商、唐物屋(洋傘などを扱う洋品店)と時代を紡いて、昭和40年「ロン」に至る。店名は愛犬の名に因んでつけられ、以来この場所で同じ看板を掲げ続けている。レトロな店内では、英國皇室御愛用の最高級豆ブルーマウンテンを使用したブレンド珈琲を堪能。珈琲以外にも軽食メニューが豊富。特に昭和の味「ナポリタン」が大人気!



人形町1-19-6
営業時間: 11:00~21:00 / 祝日10:00~19:00
定休日: 日曜



人気の「ナポリタン」¥650 (珈琲¥400)

清心丹

健康支援をモットーに、人形町で200有余年。



当時のパンフレット



「清心丹シレナルS」(粒状タイプ)

享和元年(1801)創業の薬種問屋「清心丹」。江戸が東京と名を変えて8年、その名の薬『清心丹』が発売された。胃腸の調子を整える生薬を練り固めた小さな銀の丸粒だった。この薬は確かな効果がたちまち人気となり、「東京自慢名物会」にも取り上げられたほどだ。明治18年には不老不死の伝説をもとに「人魚」を登録商標化、その証しは今も製品パッケージに刻まれている。現在は『清心丹』の自然治療力を現代人の“健康サポート”食品として蘇らせた製剤『清心丹シレナル』、(丸剤・ドリンク)を販売。

200有余年の今もその精神は受け継がれている。

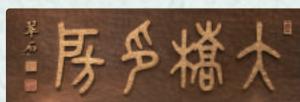


人形町1-4-10
TEL: 03-3666-4848
営業時間: 平日9:00~19:30
定休日: 日曜、祝日、第2・第4土曜

“印を押す”そこには 気持ちが、意志が宿る。

大橋印房

創業は江戸初期(350有余年)、それは看板の篆書(てんしょ)文字が物語る。「もともとは徳川幕府御用達印判師として[大橋出雲守]の名を戴き、幕府公印を始め、諸大名の印判製作に当たっていた」と語るのは、「大橋印房」十三代目・鈴木隆一氏。誰もが明字(苗字)を名乗ることになったのは明治に入ってからで、それ以後、当たり前のように自分の名の印を持つことになったのだった。「印を押す



看板の篆書(てんしょ)文字

浜町2-20-1
TEL: 03-3668-2561
営業時間: 平日9:00~17:00
定休日: 土曜日・日曜日・祝日
(木曜は不定休)



十三代目・鈴木隆一氏

行為には、そこには意志があるんです。昔は20歳になって、大人として実印を作ったのです」とご主人。大切なものの、責任としての印(しるし)として、印を押す。だからこそ「大橋印房」では今も対面販売にこだわる。顔見て、話しながら、大事な印を作るためだ。



手焼き煎餅の良さを、
古き良き町を、伝えていきたい。



「ずっと焼き続けていると、作業が終わった時は、もう手が箸を持つていてる状態に固まってるんですよ(笑)」と語る真澄さん。手焼きの良さを知っているファンは、今も足繁くお店に通う。

2010年、人形町を舞台にしたTVドラマ『新参者』が放映された。その第話で登場したお煎餅屋を覚えてるだろうか。昭和3年創業の手焼き煎餅店「草加屋」だ。「オノエア当時は、たくさんのお客様が町にいらして、店内のお煎餅が完売になってしまふほどでした(苦笑)」と当時を語るのが、三代目・大内田真澄さん。「この町で生まれ育った彼女は、子供の頃の人形町の景色が好きだった。「町には髪結屋さんがおり、人力車に乗ってお座敷に向かう芸者さん、キセルを吸いながらお客様を待つ車屋さん、着物を来て町を歩く旦那衆など、のどかな時代でしたね」と話す。その光景は、今からまだ40年ぐらいのことだ。



長女ではあったが、当時はお店を継ぐ気もなく、短大卒業後は商社に入社。6年間のOJT時代を経験。その後、お店を会社組織にすることがきっかけで、商売に意念。「小さな頃から手伝わされていたので、自然な成り行きでした。でも6年間は“社会勉強”といいい経験になりました。商人はお店という狭い世界ですからね」と語る。職人が減り、オートマティック化され、手焼き煎餅店も数少なくなっている現在「草加屋」は、一日400~500枚、一枚ずつ箸でひっくり返しながら焼く。だからこそ、それぞれの顔(表情)が違う。平べったい、膨らんでいる、焼き焦げがあるなど、それが手焼きの良さだ。(あと10年で創業100年です。そこまでは頑張りたいと思います)と話す。その裏には伝統を繋ぐ「厳しさやプレッシャー」がある。それを十分理解している彼女だからこそ、伝統を意識せず、「まずは目の前の区切りを考えていきたい」といふ想いなのだろう。

頑張る 若い店主を 応援!応援!

VOL.20

今は手焼き煎餅店
「草加屋」の三代目・
大内田真澄さんが登場!

「草加屋」
大内田真澄さん



手焼きだからこそ、
自分が焼いたお煎餅は分かります



「草加屋」

人形町2-20-5
TEL:03-3666-7378
営業時間:平日9:00~18:00
土曜・祝日10:00~17:00
定休日:日曜

WORKING STORY

■次回は、創業100有余年の洋食屋「小春軒」五代目・小島祐太さんの登場です。「人形町生まれなので、小春軒さんは昔から知っています。人形町には洋食屋さんが多いため、人気店のひとつです」と大内田真澄さんは語る。

初音

いつ訪れても、変わらない味。
懐かしい甘味処

江戸時代、天保8(1837)年に創業した「初音」は、汁粉屋から始まる都内最古の甘味処。久しぶりに人形町に訪れた際には必ず立ち寄り、ここ「クリームあんみつ」でひと息つくお客様も多い。店内に入ると、昔懐かしい昭和レトロな低い木のテーブルにイスがお行儀よく並ぶ。見回すと、若者や外国人観光客が、誰もがお行儀よく待っている。また大きなガラス窓に木でデザインされているのが「鼓」。屋号の由来である歌舞伎の義経千本桜に登場する「初音の鼓」だ。

大震災などの歴史の中で再建、同じ場所で営業を続けている「初音」は、いつの時代でも変わらない音色で迎えてくれるのである。

人形町1-15-6 TEL:03-3666-3082
営業時間:月~土曜 11:00~20:00
日曜・祝日11:00~18:00
定休日:無休



店内にほどこされた鼓のモチーフ

クリーム
あんみつ900円



大正時代の店舗

目利きの女将さん 達御用達の花屋



築地本願寺の仏華



人形町の一角、ガラス越しに見える店内の花々。ここが都内で現存している最古の花屋「花繁」である。創業は天保3(1832)年、その伝統は、現在五代目・中川桂三氏に引き継がれている。「昔はこの界隈は料亭が多く、女将さん自らが朝、生花を買いに来て活けていましたね」と語る。そうこの店

は、そんな目利きの女将さん御用達の店なのだ。屋号を「花繁」と改めた三代目は華道「遠州古流」を極め、築地本願寺御用達の花屋となる。お店には「立華式仏華」の伝統芸が今も伝わる。伝統ある花屋さんであるにもかかわらず、気軽にギフトを作ってもらえるのがうれしい!

人形町1-4-14 TEL:03-3666-8716
営業時間:月~金曜9:00~19:00 土曜9:00~17:00
定休日:日曜・祝日



明治中期のお店

桜まつり

■日時／3月25日(日) 11:00～13:00
 ■会場／甘酒横丁 浜町線道(弁慶像横)※小雨決行

毎年桜の開花にあわせ、甘酒3,000杯の無料配布と、甘酒横丁商店会のお店の名物が当たる福引を行なう「甘酒横丁桜まつり」が開催されます。

■福引券抽選は、午前11時から12時まで。(12時以降でも抽選は可)12時以降は、福引券をお持ちでない方でも1回だけ抽選に参加できます。ただし、福引フリータイムは景品がなくなり次第終了します。■福引券は、加盟店(桜まつり参加店)でのお買い物でもらえます。※もらえる条件はお店ごとに異なります。■3月21日～24日の間、福引券を甘酒券として使えます。(甘酒横丁の双葉商店、佐々木酒店、彦九郎にて実施)

2018 日本橋 桜フェスティバル

■日時／3月16日(金)～4月15日(日)
 ■会場／室町・本町・小伝馬町・人形町・京橋・東京駅・八重洲、各エリア他
 ■参加費／無料
 ■お問い合わせ／日本橋桜フェスティバル事務局 TEL:03-6280-6827

日本橋地域の春のイベント「日本橋 桜フェスティバル」が開催。日本橋ならではの桜の名所巡りや食の楽しみなど、日本橋の魅力を感じていただける企画が盛り沢山。イベントでは、日本橋地域のお店が参加。桜に関連する美味しいメニューーや可愛い商品を用意し楽しさを盛り上げます。人形町からも



10数店舗のお店が参加します。他にもエリアに隠された宝箱を探しながら、お宝を発見する「日本橋宝探し」を実施。ぜひお楽しみに!



さらに運だめしを試みる。三角くじ引いたら、なんと「4番」を引き当てラッキー! 階段下で、人形町の名品が貰えるらしい。



6



階段の下、緋毛氈の茶店で、人形町商店街組合より甘茶とおいしい人形町の銘菓を頂き、ホッとひと息つく。

5



最後に、先程のくじ引きの「4番」の賞品を頂いた! “こいつは春から縁起がいいね~”

花まつり

日時／平成30年4月7日(土) 11時～16時まで
 場所／人形町大観音寺 雨天決行
 主催／人形町大観音寺
 人形町商店街協同組合
 お問い合わせ／☎ 03-3666-9064

第16回

人形町商店街
春のイベント

花まつり

4月7日
(土)CLOSE UP
No.62

人形町では毎年、大観音寺で「花まつり」のイベントが開催されます。今回は花まつりに参加して、順路や参詣のレポートをします。

大観音寺花まつり参加して…

3



4月8日は仏教の開祖お釈迦様の誕生日。しつらえの花御堂の誕生仏であるお釈迦様に甘茶をかけてお祝い。

4



この日は、お寺のご本尊が特別開扉となる。対面したご本尊は、総高170cm、面幅54cmと、思っていた以上に大きかった!

1



大観音寺に到着! すでに参道の階段下で人がいっぱい! 私も早速、その後ろに並んでみることに。

2



東京マラソンでは完走祈願に多くの人が訪れるという「韋駄天様」

長い列に並んで順番に階段を上る。右手にお目見えしたのが有名な韋駄天様。仏舍利を盗んだ鬼神を追いかけ取り返した俊足の神様だ。“かけっこが得意になるかな~”と思いながら、まずは韋駄天様にお参り。

人形町商店街協同組合新加入

和食 多良々

「八重洲とよだ」が、大正二年に暖簾を出してから百余年、初の二号店が「多良々」(たらら)。大正から受け継いできた味に、少しだけペルーのテイストをプラスしている。ランチも営業しているので、ご賞味あれ!



人形町 2-25-3

TEL: 03-6661-6050

営業時間: ランチ 11:30 ~ 14:00 (L.O. 13:30)

平日: 17:30 ~ 23:00 (L.O. 22:00)

土曜: 17:00 ~ 22:30 (L.O. 21:30)

定休日: 日曜・祝日・第2第4土曜日

ロイヤルパークホテル

GWは、ホテルのシェフやパティシエに挑戦



パティシエは4~12歳、フレンチ、日本料理に中国料理は7~12歳までのお子様が対象。シェフやパティシエたちが丁寧に教えてくれるので楽しく学べます。体験の後は、家族でホテルのブッフェをお楽しみください。

[日 時] 5月4日(金・祝)・6日(日)

[時 間] 体験(午前) 10:30~12:00 / ブッフェ 12:30~14:00
体験(午後) 15:30~17:00 / ブッフェ 17:30~19:00

[料 金] お子様(4~12歳) 9,000円 大人 6,000円
※体験料金、ブッフェ料金、消費税、サービス料含む

お問い合わせ 03-3667-6378 (10:00~19:00)

**今ご紹介の
人形町マップ**

①玉ひで
②清心丹薬局
③大橋印房
④うぶけや
⑤ロン
⑥初音
⑦花繁
⑧草加屋
⑨多良々
⑩人形町不動産

a 明治座 b 大観音寺
c ロイヤルパークホテル

人形町商店街協同組合新加入

人形町不動産株式会社

日本橋に強い不動産屋です。人形町・浜町エリアで3店舗、展開中! 貯貸・売買・管理のことなら、お気軽に問い合わせください。

人形町 3-7-3 TEL: 03-6661-6337
営業時間: 10:00 ~ 19:00
年中無休



人形町の或る日

人形町で寄席が楽しめる!
第119回 人形町寄席

無料

日時 / 5月18日(金)

時間 / 18時30分開演

場所 / 中央区日本橋人形町1-1-17
日本橋社会教育会館8階ホール



お問い合わせ先 / 人形町商店街協同組合 03(3666)9064
受付時間 / 午前10時 ~ 午後5時まで (土・日・祝日はお休み)

チケットは4月23日以降、人形町商店街協同組合事務所にて、先着順で配布します。お渡し枚数は1名様2枚まで。枚数に限りがありますので、観覧ご希望の方は、お早めに組合事務所にお越しください。

※出演者は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

桂 瀧川 古今亭文菊
三遊亭兼好 三木助 經橋

出演者

